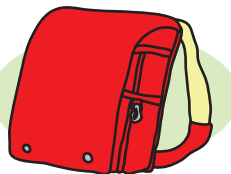


まわりの革をさがしてみよう

革は、みんなのまわりにたくさんあるよ。いくつみつかるかな？ どんなものに使われているかな？ やわらかいかな、かたいかな？ みんな、じょうぶでながもちするものばかりだね。



ランドセル



てぶくろ



ベルト



ようふく



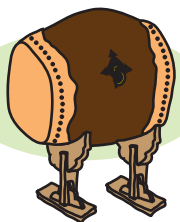
Gパンのラベル



カバン



くつ



たいこ

革のとくちょう

可塑性・かそせい

革は、ガラスやゴムとちがい、水でぬらしておくと、その形のままかたまります。このように、力をくわえて形をかえたあとに、力を取りさってもそのままの形でいることを可塑性といいます。革でものを作るときにべんりなとくちょうです。



剛性・ごうせい

曲げたりねじったりする力をくわえても、形がかわりにくいことを剛性といいます。革は、この剛性に、もとの形にもどろうとするせいしつがくわわって、美しい形のままでいることができます。



透湿性・とうしつせい

空気をとすことを通気性、水分をためないことを透湿性といいます。革は、布より通気性は少なく、透湿性が高いので、冬でもあたたかい上着やくつなどに使われています。



一般社団法人 日本皮革産業連合会

東京都台東区駒形1-12-13 皮革健保会館7F 〒111-0043

tel. 03-3847-1451 fax. 03-3847-1510

<http://leatherkids.jlia.or.jp/>

<https://www.facebook.com/leatherkids>

<https://twitter.com/leatherkids>



革ってなんだろう？



どっち？ 革と皮

「革」と「皮」は、どちらも「かわ」です。

みんなのからだの表面は皮(皮フとも呼ぶね)で、ぼくじょうにいる牛の表面も皮で、バナナの外がわも皮です。でも、ランドセルの外がわは革です。

なにがちがうのかな？



「皮」はそのままでは、すぐにかたくなってしまったり、くさってしまったりします。そこで、ていねいに水であらってから、くすりをつかってやわらかくして、くさらない「革」にします。ここで、「皮」は「革」となって生まれかわるのです。



革ってなあに？

なんぜんねん げんし じ だい
何千年もまえの原始時代のことです。
にんげん き み どうぶつ
人間は木の実をとったり、動物やさかなをつかまえて
くらしていました。お肉を食べたあとのほねも皮も
たいせつな道具としてつかわれました。皮と人間はと
てもながいつきあいです。



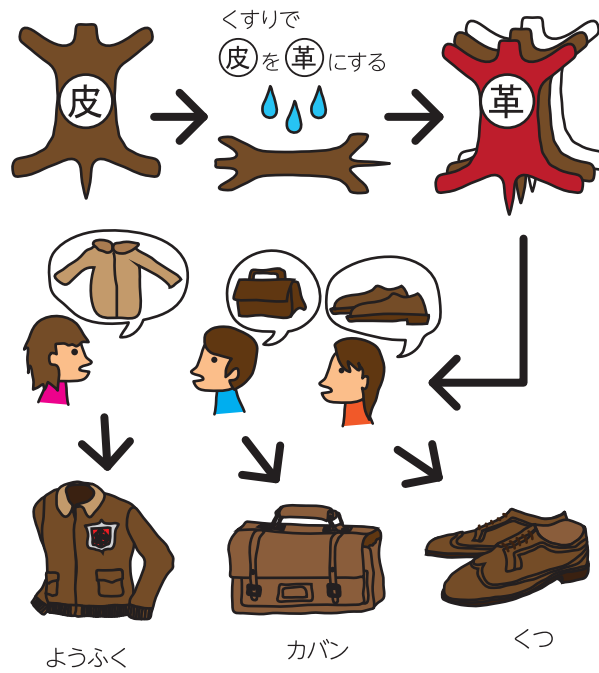
にんげん ぶく さむ
人間は服をきています。そのおかげで、寒いばしょに
い
行ったり、ころんでもスリキズができにくかったり
します。でも、動物は寒いばしょでも服をきていません
し、ころんでもへいきな顔をしています。



げんし じ だい ひと どうぶつ かわ ぶく
だから、原始時代の人たちは動物の皮を服やくつなど
にりょうして、からだを守りました。

革ができるまで

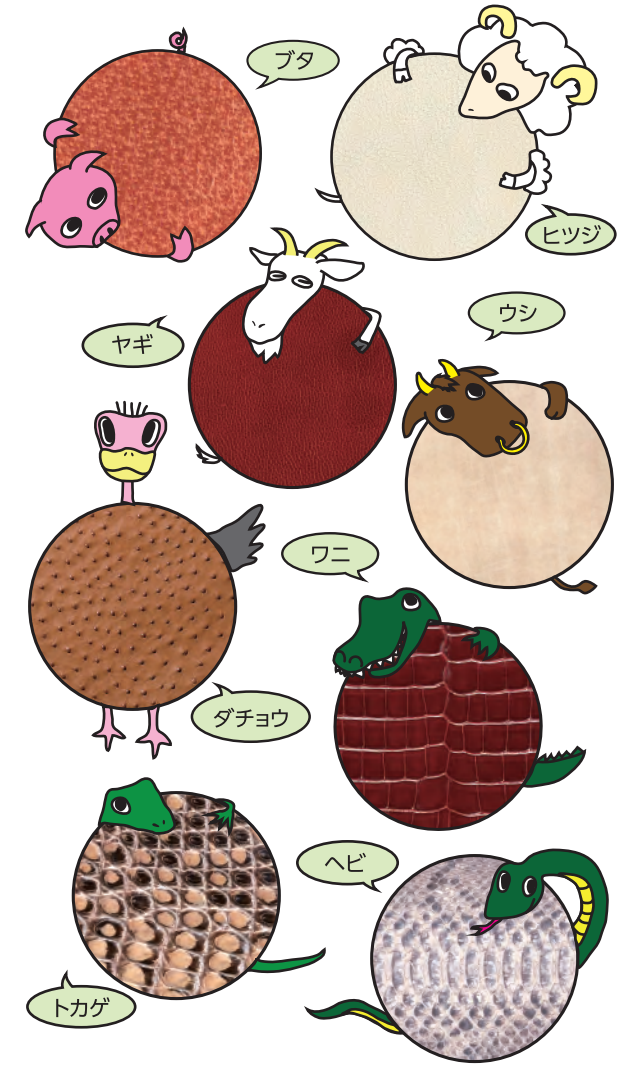
げんし じ だい ひと にく た
わたしたちも原始時代の人とおなじように、お肉を食
べています。そのお肉にもじょうぶな皮がついていま
した。その皮をたいせつに利用して、くつやカバン
など、わたしたちのまわりにあるものをつくります。



かわ みず あら
まず、「皮」をていねいに水で洗ってから、くすりをつか
ってかわかします。そうしてできた「革」のやわらかさ
おお いろ かわ
や大きさ、色などのとくちょうに合わせてものをつ
ていきます。じょうぶ なかも つく
丈夫で長持ちするくつやカバンを作るに
は、たくさんの人たちが、たくさんのおしごとをしてい
ます。

わかるかな？革のちがい

くつやカバンなどには、いろいろな革がつかわれて
います。動物は、ブタ・ヒツジ・ヤギ・ウシ・ダチョ
ウ。爬虫類は、ワニ・トカゲ・ヘビ。
それぞれちがう、「もよう」や「とくちょう」があります。



※爬虫類のなかには、ワシントン条約に基づく「種の保存法(絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律)」の制限により、保護され、捕獲できない動物があります。